



2023年4月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ポ プ ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 目 黒 俊 治
(コード番号 7601 東証スタンダード市場)
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 社 長 室 長 大 竹 修
(TEL 082-837-3510)

2023年2月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年4月14日に公表いたしました2023年2月期通期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期通期の連結業績予想と実績値との差異 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,163	63	71	126	△10.72
実績値 (B)	13,064	55	73	108	9.16
増減額 (B-A)	△ 1,099	△ 8	2	△ 18	
増減率 (%)	△7.7	△12.6	2.8	△14.2	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	13,629	△1,099	△1,007	△518	△ 36.43

2. 差異発生の理由

当連結会計年度は新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和により、売上は緩やかな回復の方向で推移致しました。

当社の100%子会社が運営する「ローソン・ポプラ」「ローソン」店舗においては、売上が好調に推移したことに加え、運営2年目に入り、社員の店舗運営・コントロール技術が向上したことから、計画を上回る実績となりました。

「ポプラ」「生活彩家」ブランドで施設内へ展開するスマートストア事業においては、人流の回復に伴い、既存店ベースの売上前年同期比は第2四半期累計期間で104%と回復が進んだものの、7月から9月にかけてコロナ感染者が再び過去最多にまで増加したことで失速、一方で業務のシステム化や効率化が進んだことで経費の削減が計画を大きく上回ったため、売上未達に伴う粗利不足を補うことが可能と判断しておりましたが、光熱費の上昇や原材料の高騰の影響が想定以上に重く、営業利益は計画を8百万下回り55百万円となりました。

また、一部の保有資産の売却を計画しておりましたが、最近の経済環境や市場動向を踏まえて総合的に判断した結果、売却を見送ることとしたことから、当期純利益は計画を18百万円下回り108百万円となりました。

以上